



# 栄小学校だより

令和4年3月24日(木) No.40 (最終号)

## 〇6年生が巣立ちました。

3月18日(金)、「令和3年度鈴鹿市立栄小学校卒業証書授与式」を行いました。

鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課副参事鈴木康仁様、学校運営協議委員の方々を来賓に迎え行いました。

36名の卒業生が6年間の小学校課程を修了した証として卒業証書を校長から一人ずつ授与されました。どの卒業生も、緊張しつつも自分の成長を誇らしげに堂々とした姿でも凛々しかったです。

学校長からは、「コロナ禍の中でも工夫をして、最上級生として栄小学校を盛り上げてくれてありがとう」、「この先、自分の夢の実現に向けて、失敗を恐れず、チャレンジしてほしい」、「友人、家族、地域の人たち、先生たちを頼ってほしい」、「常に感謝の気持ちを忘れず、何事にも全力で、笑顔と元気を届けられる人になってほしい」等の話をしました。

最後は、在校生代表(5年生)と卒業生の「門出の言葉」です。36名の卒業生が、短い言葉に小学校6年間の思いを込めて語りました。そして、別れの歌「旅立ちの日に」を歌いました。

退場時の晴れやかな子どもたちの姿を見て、小学校6年間の成長を感じ、これからの飛躍が期待できました。

また、卒業式開催に当たり、いろいろな掲示をしてくれた在校生、会場準備をしてくれた5年生、6年生の教室をととても素敵に飾りつけしてくださった、読み聞かせボランティアのみなさん、ありがとうございました。



## 〇令和4年度の児童会役員選挙を行いました

3月22日(火)に3年生~5年生が参加して、「令和4年度前期児童会役員選挙・立会演説会」を行いました。

役員には、5名の定員のところに15名の立候補がありました。立会演説会ではどの候補者も栄小学校をより良い学校にしていこうとの思いで、みんなに訴えていました。

新役員に選ばれた5名のみなさん、栄小学校児童会をよろしく願います。



## 【令和4年度 4月当初の予定】

4月6日（水）始業式・着任式 2～5年：10時45分下校

6年：11時35分下校（入学式準備）

4月7日（木）入学式 2～6年：3限授業・11時35分下校

4月8日（金）給食開始 2～6年：平常授業（1年：給食なし・11時40分下校）

## ☆特集 保護者に向けた「親塾シリーズ」No.18

### ○春休みは新学年に向けて意識を変えよう！

春休みは1つの学年が終わる区切りです。学校の授業内容は学年が上がるにつれて難しくなり、1日の平均勉強時間も少しずつ増えていきます。

新しい学年における勉強に向けて、春休み中は少しずつ意識を変えていけると良いでしょう。「勉強時間をこれまでよりも、少し長く取ってみる」「今までよりも勉強に集中できる環境を整えてみる」「スケジュールを決めて勉強をして、学習習慣を身につける」などです。

春休みにやるべきことに個人差はありますが、大切なことは予習よりも復習に重点を置くこと。春休みは1年間勉強したことを復習する、絶好のチャンスです。これまでに勉強したことをざっと振り返り、わからなかった箇所や理解不十分なところをピックアップして、重点的に勉強しましょう。新そうすることで学年進級後の勉強でつまずきにくくなります。

### 春休み中の勉強で、親が気を付けるべきポイント！

#### ○つまずいている原因を分析する

子どもが勉強でつまずいている場合、子ども自身でつまずきの原因を分析するのは難しい面があります。わからない状態をそのまま放置しておくとう学力はアップせず、また勉強へのモチベーションも大きく下がってしまうでしょう。

つまずきが見られた場合は親がテストや問題集のミスをかかのぼって振り返り、原因を分析してください。何が原因となってつまずいているのか、どうすれば先に進めるのかを分析し、子どもと一緒に改善をしていきましょう。

#### ○適切な距離で学習内容を確認する

学年を問わず、勉強のすべてを子どもに任せてしまうのは危険です。子どもによっては学習計画や学習内容、モチベーションを一人で上手くコントロールできず、任せきりにしてしまうと思ったような学習成果は出ません。

低学年の子どもや学習習慣が身につけていない子ども、学力に不安がある子どもの場合は親が積極的に関与します。親がやるべきことを示したり、できたことを褒めたりしながら、無理なく勉強を続けられるようになるはずですよ。

反対に高学年の子どもや学習習慣が身につけている子ども、学力が安定している子どもの場合は付きっきりにならず、少し離れた距離から見守ってください。ただし放置ではありません。勉強が終わった後や食事中に勉強内容を尋ねて、しっかりと勉強が進んでいるかどうかをチェックします。困ったことがあれば、その都度フォローをしてください。

#### ○親が積極的に褒める

子どもにとって親から褒められることは、何よりもうれしいことです。勉強への大きなモチベーションとなります。ささいなことでも構わないので、親は子どもの勉強に関することを積極的に褒めてあげましょう。

「今日は1時間も勉強してすごいね」「間違えずに計算できるようになったね」「間違っていたところがあったけれど、きちんと確認してえらいね」など、ポジティブな声かけをどんどんしてください。

【～ベスト塾ガイドより引用 抜粋～】

1年間ありがとうございました。